



ぶかぶか漂う  
第7回

## 世代交代?!

家庭訪問、終わりましたね。小学校の家庭訪問前には毎年、「人をお招きするつて、家がキレイになつていなー」と心の中で繰り返しながら掃除に取り組みます。自分に暗示をかけるしかありません。しかしながら時間は有限。結局は「先生も細かいところまで見ないわ」と妥協点と折り合いをつけてお出迎え。その妥協点も年々甘くなる一方です。

さて、今年の家庭訪問。4年生になつた娘の先生からも入学したばかりの次男の先生からも振られた話題が、3月に卒業した長男のこと。長男の担任だったわけじゃないんですけどね。先生たちも受け持つてたった1か月の子どもの様子を15分間話続けるほどネタがないのでしょうか。

次男の先生は長男と駅ですれ違つたらしく、「顔付きが変わりましたね。『弟がお世話をなっています』と言われました」と教えてくださいました。最近扱いづらくなってきた思



格好つけてますが、男バレ漫画『ハイキュー!!』の影響ぱりぱりです。それでも、小学生までの習い事や活動というのは、多かれ少なかれ親の誘導や情報収集、選択があつてのものでしたが、今回は一人で選んで決めてきたわけです。

### 娘、はじめてのおシゴト

娘はどうと、参加している地元リコーダー楽団の先生のご紹介で、現在、リコーダー教材の制作に協力中。数回に渡って撮影スタジオに通い、良い姿勢・悪い姿勢の例などの写真や、実際に演奏して運指の動画を撮影するというものです。

撮影現場というのは編集者という仕事柄、これまで何度も立ち会つてきたものの、今回は完全に単なる付き添い。シゴトをしているのは娘です。それは非常に不思議な感覚です。

自ら選択を始めた長男と、自らの縁で貴重な経験をさせてもらつてい

春期突入の長男。家中では特に妹や弟にイライラしている様子なのに、外でそんな挨拶をしているとは! その長男は家から電車で1時間ほどかかる中学へ通学し始めました。誰ひとり知り合いのいない学校へ、重いかばんを持って混雑する電車に乗り、混雑する駅で乗り換えです。少々心配していましたが、昨日は「これ書いて」と入部承諾書を持ってきました。身長は平均以下、マッチ棒のように瘦せている彼が、バレーボードだから友達もたくさんできそうだ。それともクラスで仲良くなつた子が入るという卓球部にしようか…。散々迷つていたようですが、その末に決断したのは部員数が少ない男子バレーボード。「友達がどうとか人数がどうとかじゃない。背の高さは仕方ない。自分がやってみたいと思うスポーツをやることにした」そうです。

サッカーなら経験もあるし、大所帯だから友達もたくさんできそうだ。それに決断したのは部員数が少ない男子バレーボード。「友達がどうとか人数がどうとかじゃない。背の高さは仕方ない。自分がやってみたいと思うスポーツをやることにした」そうです。



文・写真  
小宮華寿子  
出版社編集部員  
を経て、フリー  
ランスの編集者  
に。2男1女の母。著書に『ブラジル  
の手しごと』(メイツ出版)がある。



イラスト  
デザイン  
寺沼麻美  
切り絵作家、時々  
デザイナー。「ゆ  
らゆらゆれる北欧風手作りモビ  
ール」(ネコ・パブリッシング)を監修。

る娘。これから時代を作っていくのは彼らの世代なんだ。当然でも実感がなかつた事実。それが天から降ってきたように私の中に入つてきたここ1か月の出来事です。

そして、つい忘れがちな末っ子。入学1か月にしてすでに宿題の「おうちの人サイン」欄に、自分で印鑑を押す習慣がついてしまいました。「おうちの人」は見ていません。文字を覚え始めのこの時期に、鉛筆の持ち方も書き順も文字の形も、変な癖が付けばあとから大変。そんなこと、上の子2人で母は学んできたのです。わかつていてもそれがなかなか…。「なかなか」ばかりです。